

# 南会津 のうりんニュース



## 今月の写真：「冬景色」(下郷町落合地区)

会津地方特有の曇り(もしくは雪ぐもり)が続かず、晴れの日が多い今日この頃です。昨年のように極端に多い降雪も困りますが、少ない降雪も善し悪しかも知れません。

最近の気象情報では、「記録更新」とか、「観測史上最高(もしくは最低)」などの文言が多いように思われます。

## 今月の内容：

- 今月のトピックス
  - ・ 第3回南会津地方農業農村パートナーシップ推進大会を開催!!
  - ・ きこの栽培をはじめよう!
- 集落営農推進情報
  - 下郷町における集落営農の動き!
- 特集!!
  - あなたのチャレンジを応援します!!
- 南会津のこれが食べたい
  - 打ち豆
- 今月のコラム

平成19年2月14日発行 福島県南会津農林事務所

## 今月のトピックス

わたし  
「女性も頑張る南会津の農業！」

### 第3回南会津地方農業農村 パートナーシップ推進大会を開催!!

農業は南会津の基幹産業です。農業は老若男女みんなが取り組める産業です。そこで、「ふくしま農山漁村男女共同参画プラン」に基づき、農業に携わる男女が共に参画し、活力ある農村を実現することを目的に去る1月11日に御蔵入交流館において標記大会を開催しました。

当日は南会津管内から75人もの参加者があり、熱気あふれる大会になりました。なお、今回の大会は、よくある基調講演や事例発表といった一方通行でなく、全員が参加する、バズセッション方式で実施しました。

まず始めに、二本松市在住の佐藤弘子氏から「自分が生きるわけ」をテーマに、農業の魅力について問題



(上) 講師の佐藤弘子氏  
(下) 意見を出し合う参加者



事例発表会

提起があり、バズセッションで参加者が11グループに分かれてブレインストーミング(自由に意見を出し合い、あるテーマに関する多様な意見を抽出する方法)を行いました。始めは皆さん固くなっていましたが、後半になると積極的な発言も見られるようになりました。

その後の事例発表では、只見町の三瓶やえ氏、下郷町の室井京子氏、南会津町の室井裕子氏、酒井澄子氏の4名から「我が家の農業経営と私の役割」という題で発表がありました。題名から見ると「私」がやったことを強く打ち出す内容に見えますが、実際には今の私がいるのは家族のおかげというのが結論でした。男だから女だからということではなく、農業に携わる家族の力でそれぞれの経営が形作られたことが感じられた事例発表でした。

(農業普及部)

## きのこ栽培をはじめよう!!

去る1月18日、南会津町伊南総合支所主催で、森林の有効活用や所得の向上につながるきのこ栽培の技術習得を目的にきのこ栽培指導会が開催され、伊南地区山菜きのこ栽培研究会員や認定農業者等、24名が参加しました。

農林事務所職員を講師に、はじめに伊南きのこセンターの栽培施設を見学しながら、きのこの菌床栽培及びマイタケの原木栽培の仕込方法について学習し、その後、伊南総合支所会議室に会場を移し、原木やパーク堆肥を使って栽培するきのこの栽培方法の概要について講義が行われました。参加者からは、原木の伐採時期や植菌時期、伏込み場所の選定等につ

いて様々な質問が出され、活発な討議が行われました。

今回の参加者のうち数名は今年からムラサキシメジやサケツバタケといったきのこの栽培試験にも新たに取り組むことになっています。今後は、伊南きのこセンターの高度活用も視野に入れ、南会津の自然環境を活かしたきのこの生産振興を支援していきたいと思えます。



熱心に聞き入る参加者

(森林林業部)

## 集落営農推進情報

### 下郷町における集落営農の動き!

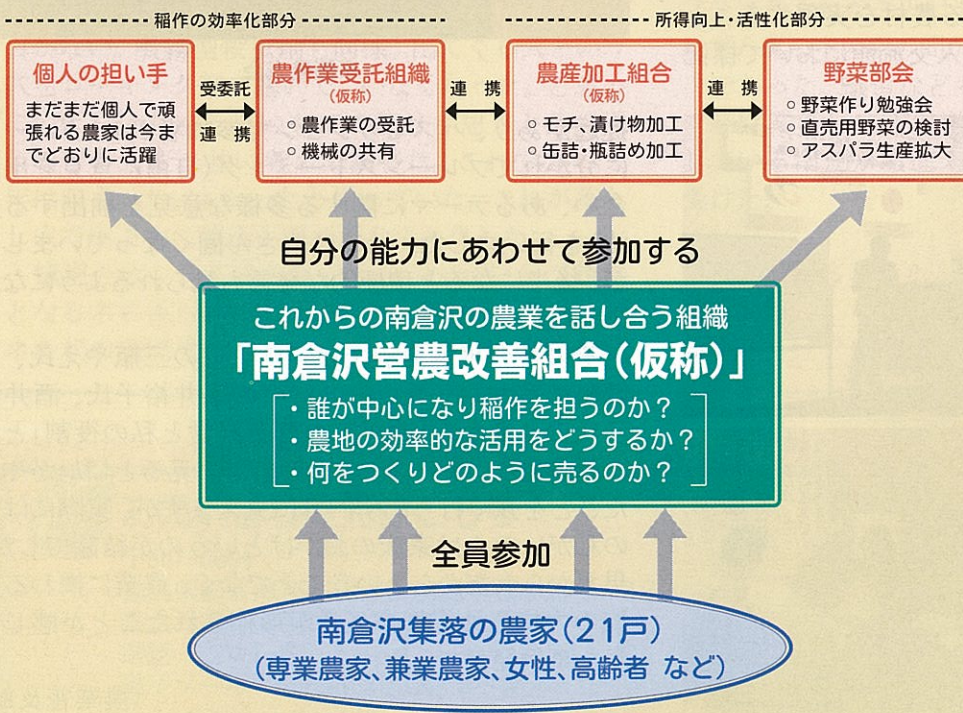
下郷町では、既に活動を始めている「芦ノ原集落(第101号で紹介)」の始動を契機に、多くの集落で話し合いが始まっています。その多くは、今後の農業の担い手をどうするのか? 機械貧乏をどうしたら解消できるのか? などといった危機感から「自分の集落だったら何から取り組めるだろう!？」といったスタンスで話し合いが行われています。

中でも話し合いが進んでいる「南倉沢(なぐらさ

わ)集落」では、農作業受委託により水稻の合理化を図ると共に、農産加工や直売、アスパラガス作付けなどの取り組みで、集落みんなが活躍でき、所得を伸ばせる仕組みづくりを目指しています(図参照)。

仕組みのポイントになるのは、話し合いの基礎組織となる「南倉沢営農改善組合(仮称)」に集落全戸が加入し、専業農家、兼業農家、高齢・女性農業者が自分の能力に合わせて各営農に参画できることです。高齢でリタイアする場合にも改善組合をとおして安心して農地を任せることができ、集落みんなが集落の農地を守るという意識づくりにもなるでしょう。

#### むらづくりのスローガン! 「集落のみんなが活躍できる“むらづくり”を目指そう!」



南倉沢集落の集落営農体制図(案)

現在下郷町では、町役場、JA、農林事務所が連携して7集落への支援を行っています。動き出しが見られる集落の共通点は、アンケート調査をとおして集落みんなの危機意識が高まったところにあります。今後も元気なむらづくりに向けて昼夜を問わない話し合いが継続されます。

(農業普及部)

## 農家の皆さんへ 「あなたのチャレンジを応援します!!」



### 農業改良資金のご案内

- 農業改良資金制度は、
- ◇ **新たな** 農業部門の経営の開始
  - ◇ **新たな** 加工の事業の経営の開始
  - ◇ 農畜産物又はその加工品の **新たな** 生産方式の導入
  - ◇ 農畜産物又はその加工品の **新たな** 販売方式の導入 の

**農業経営の改善**に必要な施設・機械・資材などを購入するための資金を**無利子**で借り受けることができる制度です。

- ・利用限度額 1,800万円(法人5,000万円)
- ・償還期限 10年以内(据置期間3年以内)
- ・融資率 認定農業者:100%、その他の担い手:80% です。

**農**業改良資金は、平成14年の農業改良資金助成法の改正により、農業の担い手等が、その自主性と創意を生かしつつ、農産物の加工を開始したり、新作物に取り組む場合あるいは生産方法を改善する場合には、県が貸付資格を認定し、認定した農業者等に必要な経費を貸し付ける制度に改正されました。

この改正以降、当南会津管内では貸付実績がありませんでしたが、今年度、借受された方がいらっしやいますので、ご紹介いたします。

下郷町中妻の室井唯男さん、京子さんご夫妻です。

これまでの農業経営規模は、ご夫婦で水稲260a、葉たばこ110a、京子さんの農産物加工(餅)でした。今後、葉たばこの生産については労力の低下等によりこのまま続けていけるだろうか?…との不安があったそうです。そんな時、昨年3月、「日本農業新聞」で、この「農業改良資金」についての記事が目に入ったそうです。京子さんの手打ちそばは知



(左から) 京子さん、娘さん、従業員さん、唯男さん

り合いの人たちに「とってもおいしい」と、餅加工品についても直売所等で大変好評だったため、思い切って「**農家レストラン**」に**チャレンジ**してみたい、と相談にいらっしやいました。事業内容は、現在の住居を改築し、加工所の設置、農家レストランの開業でした。貸付決定まで書類の作成等でご苦労もありましたが、室井さんご夫婦の熱意のもと、昨年11月17日、「**農家れすとらん・蕎屋**」を開店されました。開店以降、京子さんの「こだわり十割蕎麦」を求めて、県内、また県外からもお客さまがあるそうです。

室井さんご夫婦のように何かに**チャレンジ**したいと考えている農家の方、是非、室井さんの「農家れすとらん・蕎屋」にご相談されてはいかがでしょうか?

なお、詳しいことは、南会津農林事務所農業振興部振興グループ(電話0241-62-5253)まで、ご相談ください。

(農業振興部)



“しんごろう”焼く囲炉裏を囲み、  
お客さんと会話を交わす唯男さん

## 南会津のこれが食べたい!!

大豆を使った会津の郷土食

### 打ち豆



「打ち豆」とは、呼んで字のごとく「打った豆」のこと。少し水分を含んだ大豆を、木槌等で平たく打ち伸ばし、乾燥させたものです。

昔、冬期間に生野菜の少ない会津地方で生まれた、長期保存が利く食材です。

味噌汁に入れると、立ち込める大豆の香りが一層増し、食欲が進みます。

「打ち豆」の作り方は、南会津農林事務所ホームページを御覧下さい。



打ち豆 南会津

検索

## 今月のコラム

# 家が喰われた!!

風呂に入っていて、湯船の表面になにやら小さな黒い虫が5～6匹浮いているのを見つけた。羽を持っているので羽アリと判った。数日間ほとんど毎日浮いていた。風呂の窓枠を歩いている者もいた。こちらは羽がない。これは8～9年前の話である。

その時は、植物や木が多少あったので、蟻が寄ってきたのかと思っていた。風呂場はタイルで覆われているので、ヒビ割れ目から這い出てきたと思われる。薬局からアリ殺しを買ってきて撒いたが、効き目がない。噴霧型殺虫剤も同様。出てくる穴という穴をコーキング剤で塞いで、いなくなった。と思っていた。(いわゆる臭いものに蓋。)今思うとその場しのぎの大変に甘い考えであった。これで2～3年は収まった。よかったと思っていた。これが落とし穴で床下中に蟻道が張り巡らされました。

蟻道とはシロアリのコロニー(土の中)とご馳走となる木の柔らかい部分をつなぐ湿気が多いトンネル状の通路です。土や粘土にだ液や排泄物を混

ぜた材料で出来たものです。シロアリがこれを作るには、乾燥が嫌いなのと天敵のオオハリアリ(どこにでもいる)から身を守るため。

ところで、シロアリは蟻ではありません。蟻はハチの仲間ですが、シロアリはゴキブリの仲間です。生態は蟻に似ていますが、だからオオハリアリという蟻はシロアリをねらうのだそうです。

我が家の台所・風呂場・トイレの水回り所がシロアリにやられたことは判っていたが、乾燥しているはずの真ん中の床の間が喰われたのは、大きなショックであった。蟻道など考えてもいなかった。シロアリ駆除業者に床下に潜って調べてもらったら乾燥している南側から進入していて二重のショックを受けた。

羽アリを多数見たら、点検をお勧めします。

(農村整備部副部長 服部 猛)



### お問い合わせ先はこちら

〒967-0004

福島県南会津郡南会津町田島字根小屋甲4277-1

南会津農林事務所 地域農林企画室

電話 0241-62-5866 FAX 0241-62-5256

電子メール minamiaizu.nourin@pref.fukushima.jp

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/norin-minamiaidu/>



みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています

PRINTED WITH SOY INK™

この広報誌は古紙配合率100%再生紙とSOY(大豆油)インキを使用しています。